

平成4年2月27日

目白三人の会ドキュメントビデオ

『舞踊への招待』堂々完成！

『国際化って何だ』『それぞれの第九』『赤い鳥は今も』と、3年連続で国内の広報・産業・文化映像コンクールの各賞を受賞している豊島区広報課がその総力をあげて取り組んだビデオ作品『舞踊への招待(24分)』が完成。区役所、出張所、消費生活センター、図書館、社会教育会館、体育館、勤労福祉会館など区内31か所の窓口での貸し出しを始めた。無料。貸し出し期間は原則として1週間。郵送での貸し出しを希望する場合は、250円の切手を同封の上、〒170 豊島区東池袋1-18-1 豊島区広報課ビデオ担当まで。問合せは、電話3981-1111内線2131~2。

「踊りは特別な人たちのものではありません。もっと多くの人に踊りの本当の楽しさを理解していただきたい」と、豊島区目白にスタジオをもつ3つのジャンルの3人の女性舞踊家が『目白三人の会』を結成、世界で唯一のユニークな普及活動を8年にわたって展開している。3人とは、日本舞踊の花柳千代さん、現代舞踊の芙二(ふじ)三枝子さん、クラシックバレエの小林紀子さん。花柳さん、芙二さんはともに紫綬褒章受章者、小林さんも現役時代は日本を代表するプリマとして活躍した皆超一流の舞踊家である。

5年前からは豊島区や区教育委員会が後援。地域に根ざすことを前提にしながらも、その活動は、日本各地に広がり、各方面から注目されている。

豊島区広報課では、「『目白三人の会』の存在は、豊島区における新たな地域文化の核であると同時に、その活動は、日本人の芸術文化への意識を変革できるほど内容の濃いもの。区民の皆さんはもちろん、区外の方々にも積極的に紹介したい」と、ドキュメントビデオを企画製作した。

主な内容は、豊島区と共催する舞踊普及公演のステージ、栃木県内の中学校への巡回公演とその舞台裏、3人それぞれの芸術活動、そして『目白三人の会』の原点である自分たちのスタジオで開くミニ公演の再現など。上映時間24分があっという間に過ぎてしまうほど凝縮された密度の濃い映像で構成されている。

問合せ 広報課広報係

平成3年12月8日

踊りの魅力を、目の前で

目白三人の会

『舞踊への招待～入門編～』開催

8日、午後1時30分から4時まで、豊島区目白2-12の美二三枝子舞踊研究所において、目白を拠点に国際的にも活躍する3人の舞踊家が、「踊りは、特別な人たちのものではない。踊りの本当の魅力を一人でも多くの人に知ってもらいたい」という願いを込めて、ミニ公演を開催した。

3人の舞踊家とは、現代舞踊の美二三枝子さん、日本舞踊の花柳千代さん、そして、クラシックバレエの小林紀子さん。美二さんと花柳さんは、ともに紫綬褒章受章者、小林さんも現役時代に芸術祭大賞を受賞しており、それぞれの分野で日本を代表する舞踊家である。

この3人が、1984年、日本の舞踊界の現状を考え「舞踊の一般への普及と、舞踊教育の向上をめざして」目白三人の会を結成。以来、年1～2回、それぞれの研究所を持ち回りで舞台として、「まずは、地域の人々に」と、手作りのミニ公演を開催していた。86年からは、豊島区教育委員会が後援し、「舞踊への招待」と銘うって、毎年1回、大きな舞台を使って開催するまでに成長した。

さらに、ここ数年は、文化庁の外郭団体である財団法人日本青少年文化センター及び、栃木県教育委員会からの依頼により、栃木県内の中学校へ巡回公演を実施している。「小さい学校だと、生徒さんより踊り手の方が多きようなときもありますよ」(美二三枝子さん談)。

しかし、それぞれに多忙を極める3人にとって、年1回の舞台が大きくなり、地方からの依頼が増えるほど、「踊りはすべての人のものだということを、なによりも地域の人々に理解してもらおう」ためのミニ公演は休止せざるを得なかった。

そこで、「もう一度原点に帰り、踊り手と観客がひざを交えるような距離で、本当の踊りを地域の人たちに見てもらいたい」と、5年ぶりの開催が実現した。

題して、「舞踊への招待～入門編～」。各分野30～40分ずつの時間の中で、各舞踊団の第一線で活躍中のダンサー・踊り手による実演はもちろん、3人の先生方が解説を混じえ、それぞれの舞踊の歴史や特長、さらには、日頃の基礎訓練の様子などを紹介し、ステージやテレビでは絶対に味わえない「踊りの真の姿」を凝縮して一度に堪能できるよう工夫されたミニ公演。

観客は、豊島区の広報紙を見て応募し、抽選の上、入場券を手に入れることができた区民約100名。「本当は、ご応募いただいた方全員をご招待したいのですが、手狭なスタジオ(研究所)ですからどうしても限界があります」。

そこで、今後、目白三人の会では、「豊島区教育委員会と共催する東京芸術劇場での大きなステージはもちろん続けながら、今回のようなミニ公演も年1回は開催したい」としている。

なお、豊島区広報課では、この目白三人の会の活動を追ったドキュメンタリービデオを製作中、来年1月末の完成が待たれている。

問合せ 笑二三枝子舞踊研究所